

※見積書を添付する場合の注意事項

見積書の宛先がリース事業者のみで複数隻の見積書が提出されるとリース事業の本申請の際、整理に困難が予想されます。

つきましては、取得価格審査申請に添付する見積書の宛名は、リース事業者と中核的漁業者（借受者）を併記くださいますようお願い申し上げます。

併せて、相見積もりを提出する際、発注予定業者とその他の業者が明確になるよう、採用する見積もりの右上に①と記載するように留意願います。

特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構

(文書番号)
年 月 日

取得価格等適正審査委員会 御中

住 所 (リース事業者住所)
法人名 (リース事業者名)

水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業
価格審査申請書

下記により(浜の担い手漁船リース緊急事業または漁船漁業構造改革緊急事業)を実施したいので、**水産関係民間団体事業補助金交付等要綱**の運用について第3の2-10の(3)のイの(カ)のaの(a)に基づき、下記漁船の価格が適正であることを確認願います。

記

1. 再生委員会名 _____
2. 広域プラン (いずれかに○) ・浜の活力再生広域プラン ・漁船漁業構造改革広域プラン
・浜の機能再編広域プラン
3. 中核的漁業者氏名 _____
4. 取得する漁船に関する情報 (いずれかに○)
中古船 自己所有船又は中古船を改修 新造船 (船質: FRP、アルミ、鋼)
5. 漁業種類又は用途
6. 操業区域
7. 主たる根拠地
8. 主要目 別紙様式1のとおり
9. 取得に要する費用 取得予定額: _____ 円 (税抜き価格)
10. 担当者連絡先
住 所: 〒
所属、役職、氏名:
連絡先 (TEL、mail):
※リース事業者の担当者を記入すること

以上

※総トン数、主要寸法（L×B×D）、漁船法馬力数は、建造後、漁船原簿と照合することに留意願います。

様式 1

導入する漁船の主要目等

総トン数	T		主 機 関	型式×台数		
L×B×D (登録長さを記載)	m	L: B: D:		連続出力	kW	
魚 倉	m ³			漁船法馬力数	kW	
冷凍室・準備室	m ³			回転数	min ⁻¹	
				シリンダー等	mm	
凍結能力	t×回		プロペラ	枚数×直径×ピッチ	mm	
燃料タンク	m ³		補 機 関	型式×台数		
清水タンク	m ³			出力	kW	
増水機	t/day			回転数	min ⁻¹	
発電機			レーダー			
冷凍設備			DGPS			
無線通信機			サテライトコンパス			
魚群探知機			デジタル水温計			
ソナー			プロッター装置			
風向風速計			AIS			
船 齢 (中古船のみ)			機 齢 (中古船のみ)			
漁労機械						
特殊装備						
その他 (既存漁船からの移 設装備がある場合は その内容を記載す る。)						

※中古船を取得し改修する場合、該当項目に換装前の型式等を併せて括弧書きで記載すること。
 なお、船体の改修等、該当項目がない場合は、その内容を「その他」の項目に記載すること。併
 せて、写真や図面（一般配置図）がある場合は添付すること。

導入する漁船が適正な規模・設備であるとする理由

(地域等における同規模、同業種の漁船等と比較や、広域浜プラン等の計画達成のために必要な装備を設備するなど、要目の妥当性について説明してください。)

※導入する漁船が、広域浜プラン等の達成のために必要であること。また、計画に基づいた仕様になっていることを記載してください。

導入する漁船が適正な取得価額だと判断される理由。

(同船型等の相場や漁船保険の時価評価額を比較するなど、価格の妥当性について説明してください。)

1. 中古船の場合

※取得する漁船の評価額がわかる資料(例 漁船保険引受通知書)や、中古船の売買状況の実績等がわかる書類を添付し、予定する取得価格が妥当であると考えた理由を記載する。

2. 中古船を購入し改修する場合

※船体については同上、併せて、改修費用については相見積等を添付し、船体と併せて改修費用が妥当であると考えた理由について記載する。

3. 新造船の場合

※直近の建造価格、相見積等を添付し、予定する取得価格が妥当であると考えた理由を記載する。

※上記説明を裏付ける以下の資料を添付してください。

①同地区、同船型の装備実態等に関する資料(要目表等)

(必要に応じて広域浜プラン計画達成のために必要である漁船であることの説明資料)

②同型船の売買状況等、直近の建造価格など価格相場に関する資料、相見積り等

【取得価格の内訳】

※本様式は、中古船（リースバックを含む）を取得し改修する場合にのみ記載すること。

※価格欄には機器の購入価格と取り付け等工事費を2段書きで記載すること。

1. 船体

総トン数	価格

※取得価格と併せて建造価格を括弧書きで記載すること。

無償譲渡の場合は、「無償譲渡」と記載すること。

2. 機関

(1) ディーゼル機関

①主機関

型式	出力 (kW)	価格

②補機関

型式	出力 (kW)	価格

(2) 船外機

型式	出力 (kW)	価格

3. 漁労機器

名称	型式	価格
小計		

4. その他の設備

(1) 無線設備

種類	型式	価格
小計		

(2) 魚群探知機、ソナー

型式	価格
小計	

(3) その他

型式	価格
小計	

5. 下取り予定価格

※中古船を取得し改修する場合において、被代替機器等の下取を計画している場合は、機器名と下取価格（予定額）を記載すること。

機器名	下取価格

価格合計	
------	--

※価格合計が取得価格と一致するように記入すること